

募集要項

小冊子「宗教者からのメッセージ～すべてのいのちの平安を願う～」

1. 趣旨

2016年より、京都府は自殺対策の一環として3月1日を「京都いのちの日」として制定します。これは、悩み苦しんでいる方々の孤立を防ぐことを目的として、全ての人びとが自死の問題に関心を向け、その理解が促進されることを狙うものです。この取組に応じて、私たち宗教者も悩み苦しんでいる方々にとって、心の安らぎを感じていただけるような行動を起こしたいと思います。

具体的には、自死にまつわる苦悩を抱えた方々へ向けた、あたたかな想いのこもったメッセージの発信を提案いたします。宗教者の皆様から、今まさに悩み苦しんでいる時にこそ触れて欲しい、心のあたたまるメッセージを書いていただき、一つの小冊子にまとめ、その内容を広く一般に向けて届けたいと思います。

2. 内容

①メッセージの対象

A：死にたいほどの気持ちを抱えている方（自死念慮者）

自死念慮者の多くは、大きな孤独感を抱えています。そこで、あらゆる宗教者がそれぞれの信仰を超えて、自死念慮者に対する慈しみの心を示すことで、自死念慮者の孤独感を和らげることを目的とします。

B：家族、友人、恋人、同僚など大切な人を自死で亡くした方

自死に関しては、社会的な無理解が強くあります。それにより、自死した方や残された遺族をはじめとする周囲の人たちが不当に扱われ、多くの苦悩が生じています。そこで、宗教者が自死した方に対して追悼の意を表することにより、不当に扱われてきた自死した方の存在を尊重するとともに、残された人たちの心の安らぎを提供し、社会の無理解の解消へつなげることを願っています。

②文字数 AとBそれぞれ100～300字程度。

③記名 信仰する宗教名・所属する教団または宗教施設・名前

④編集方法

寄せていただきましたメッセージにつきましては、基本的にそのまま掲載させていただきますが、編集の都合により、改訂させていただく場合がございます。もちろん、改訂した場合には事前にご本人様のご了承をいただいてから掲載させていただきます。また、紙幅の都合上などで掲載できない場合には、事前にお伝えいたします。

⑤提出期限 2月10日（水）

3. 発信方法

①小冊子の作成

①-1 頁数 24～36 頁

①-2 白黒 ※カラー4頁 (表紙・裏表紙・中扉×2)

①-3 発行部数 3,000 部

②記者会見

3月1日午後に、京都市内の施設において記者会見を行います。

※現在、京都府の記念シンポジウム(3月1日午後開催)と同会場内で調整中です。

③京都府の記念シンポジウムでの配布。

自死に関する活動を行っている団体へ寄贈。

小冊子を希望する方へ寄贈。(※先着順)

④浄土真宗本願寺派総合研究所 HP にて公開。

4. メッセージサンプル

①僧侶は、日々のお参りの中で、死にたいほどの苦悩を抱える方や、自死により大切な人を亡くされた方と接することがあります。

私たちは、そうした人々の思いの一つひとつを大切にし、一人ひとりの苦悩にきちんと向き合い、その重荷を共に支えていきたいと考えています。

②毎年、誰にとっても大切な方々の命が自死で消えていくことに、胸が大変痛みます。ご遺族の胸にあるその悲しさ、辛さ、絶望、後悔など、さまざまな思いを受けとめ、皆さまの気持ちに寄り添えることのできる僧侶になりたいと思います。

死にたいと考えてしまう方、あるいはご遺族の皆さまに対して、僧侶としてできることは心の寄り添いやお互いに認め合い、支え合うことが大切であると考えています。誰にとっても、苦しいときは苦しい、辛いときは辛い、悩みを悩みとして打ち明けられ、受けとめてもらえる社会にしていきたいです。

③亡くなられた方、ご家族やご友人の方のいたみを感じ、人の心を支えていくすべを、深め、また鍛え、磨く、宗教の大切な役割をあらためて思います。

④私は一番の親友を自死で失いました。不安があったのに、何も出来ませんでした。私と彼の元妻に会いたいと言って亡くなったそうです。私が自死問題に取り組むのは、彼との対話であり、彼への供養でもあると思っています。

僧侶は日常的に檀信徒と親しく接する機会があり、ごく自然に寄り添える立場にあります。私たち臨済宗妙心寺派でも、個々に活動されている方はおられますが、昨年より教団として取り組みを始めました。

維摩居士(ゆいまこじ)の言葉に「衆生(しゅじょう)病むが故に、我病む」とあり

ます。人の痛みを自分の痛みとして、お互いが思い合える社会の実現に向け、共に踏み出しましょう。

⑤私は悔いる。

あなたと絶望の淵と一緒に立てなかったことを。

そして、私は祈る。

あなたがもう二度と同じ苦しみを味わうことのないように。

※これらのメッセージは「Life fes' KYOTO 灯 2010」（2010年9月12日開催。主催：京都自死・自殺相談センター／京都市／遺族会ミトラ）へ寄せられた宗教者からのメッセージです。

【問い合わせ】

浄土真宗本願寺派総合研究所

担当者：竹本了悟（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

〒600-8349

京都市下京区堺町 92

TEL：075-371-9244

takemoto.ryogo@gmail.com

以上